2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月11日

上 場 会 社 名　　株式会社カネカ　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　4118　　URL　https://www.kaneka.co.jp/
代　　表　　者（役職名）代表取締役社長　　（氏名）藤井　一彦
問合せ先責任者（役職名）IR（Investors Relations）部長　（氏名）井ノ口　敦也　（TEL）03-5574-8090
半期報告書提出予定日　　2026年11月12日　　配当支払開始予定日　　2026年12月４日
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（　証券アナリスト・機関投資家向け　）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	446,972	12.5	28,678	91.7	24,323	106.8	14,645	32.5
2026年３月期中間期	397,428	0.4	14,963	△21.7	11,762	△18.3	11,049	8.7

（注）包括利益　2027年３月期中間期　15,954百万円（　9.7%）　2026年３月期中間期　14,540百万円（　53.4%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	243.48	242.55
2026年３月期中間期	176.51	175.92

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	985,366	530,769	51.4
2026年３月期	959,154	521,669	52.0

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　506,887百万円　　2026年３月期　498,656百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	80.00	―	80.00	160.00
2027年３月期	―	105.00			
2027年３月期(予想)			―	110.00	215.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：有

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	890,000	9.7	48,000	45.9	41,500	43.7	32,000	3.3	536.33

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：有

新規１社（社名）株式会社カネカコリア、　除外１社（社名）AB BIOTICS PTE.LTD.

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	63,000,000株	2026年３月期	63,000,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	3,145,441株	2026年３月期	2,774,693株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	60,149,864株	2026年３月期中間期	62,598,751株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料４ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、2026年11月11日に、機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を電話にて開催する予定です。

【添付資料】

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 ……P. 2
（１）当中間期の経営成績の概況 ……P. 2
（２）当中間期の財政状態の概況 ……P. 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……P. 4
（４）配当予想の修正に関する説明 ……P. 5
２．中間連結財務諸表及び主な注記 ……P. 6
（１）中間連結貸借対照表 ……P. 6
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 ……P. 8
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 ……P. 10
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 ……P. 12
（中間連結損益計算書関係） ……P. 12
（セグメント情報等の注記） ……P. 12
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……P. 13
（継続企業の前提に関する注記） ……P. 13

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

➢ 世界経済の状況　－成長鈍化への警戒感が高まる－

保護主義や分断化が深まり、中東情勢の膠着が続くなかで、世界は混迷しています。
米国は中間選挙の結果を受けて政策運営の不透明感が高まっており、経済の混乱が予想されます。欧州はインフレ圧力が景気回復への重石となっています。
中国は内需低迷から抜け出せず、日本は物価上昇や利上げが景気を下押しする懸念があります。
世界経済は未だ安定化に向けた道筋が見えず、成長の鈍化に向けた警戒感が高まっています。

➢ 当社グループの業績　－増収増益－

このような状況下、当社グループの当中間連結会計期間（2026年４月～９月）の業績は、売上高446,972百万円（前年同期比12.5%増）、営業利益28,678百万円（前年同期比91.7%増）、経常利益24,323百万円（前年同期比106.8%増）、親会社株主に帰属する中間純利益14,645百万円（前年同期比32.5%増）となりました。
売上高・営業利益・経常利益・中間純利益いずれも前年同期を大幅に上回りました。

2027年３月期　第２四半期（中間期）連結業績　（単位：百万円）

	2026年３月期 中間期	**2027年３月期 中間期**	増減
売上高	397,428	446,972	49,544 (12.5%)
営業利益	14,963	28,678	13,714 (91.7%)
経常利益	11,762	24,323	12,560 (106.8%)
親会社株主に帰属する中間純利益	11,049	14,645	3,596 (32.5%)

セグメント別売上高・営業利益　（単位：百万円）

	売上高				営業利益			
	2027年３月期				2027年３月期			
	１Ｑ	２Ｑ	中間期	前年同期比	１Ｑ	２Ｑ	中間期	前年同期比
Material SU	94,444	90,533	184,977	22,483 (13.8%)	10,858	8,438	19,296	6,694 (53.1%)
Quality of Life SU	53,849	54,312	108,161	11,144 (11.5%)	7,006	7,884	14,890	5,449 (57.7%)
Health Care SU	22,026	23,464	45,491	8,144 (21.8%)	3,258	3,553	6,812	1,112 (19.5%)
Nutrition SU	52,434	55,422	107,857	7,761 (7.8%)	3,363	3,891	7,254	1,300 (21.8%)
その他	270	214	485	10 (2.3%)	140	60	200	2 (1.4%)
調整額	－	－	－	－	△9,681	△10,093	△19,775	△845 (－)
計	223,025	223,947	446,972	49,544 (12.5%)	14,944	13,733	28,678	13,714 (91.7%)

➢ 全社業績についてのRemarks

２Ｑは１Ｑに続き、サプライチェーンを安定化させ、市場の信頼をさらに高めることに注力しました。１Ｑからの原料価格の高騰を受け、一部事業で原価が大きく上昇しましたが、適切な製品価格の改定やコストダウンなど機動的な対応を継続しました。重点領域であるHealth CareやSupplementは販売拡大が続いています。先端事業の収益が着実に伸長し、ポートフォリオ変革が進んでいます。

２Ｑは全てのユニットで前年比で増収増益、上期累計でも前年を大幅に上回りました。

各セグメントの状況は次のとおりです。

① Material Solutions Unit

当ユニットは、原材料価格の高騰が続くなか、価格改定などにより全体で増収増益となりました。

➢ Vinylsは、製品の安定供給を徹底し、製品価格の改定に努めたことにより増収増益となりました。
➢ MODは、グローバルで販売が堅調に推移しました。安定供給と差別化製品の拡販に取り組み、増収増益となりました。MXの販売も好調に推移しました。
➢ MSは、原材料価格が高止まるなか、他材料からの置換と拡販が進み、販売増となりました。セメダインとの協業による成果も寄与し、全体で増収増益となりました。
➢ Green Planet®は、世界のブランドホルダーと共同した取り組みが着実に進んでいます。今後もカトラリー・包装材などを中心に国内外で採用が拡大する見通しです。

② Quality of Life Solutions Unit

当ユニットは、全体で増収増益となりました。

➢ Foamは、市場からの旺盛な要求に対して安定供給を継続し、拡販を実現しました。価格改定およびトータルコストダウンに努めたことから、スプレッドが改善しました。
➢ E&Iは、２Ｑに大型液晶TV向けの光学用フィルムが需要調整の影響を受けましたが、ポリイミドフィルムでの高付加価値グレードの拡販などが寄与し、全体では増収増益となりました。
➢ PVは、国内戸建て住宅向け高効率太陽電池の販売が堅調に推移しました。タンデム型ペロブスカイト太陽電池の量産技術の開発が進んでいます。
➢ Fiberは、頭髪製品の拡販が進みました。販売が堅調な難燃ファブリックは価格改定に努め、全体では増収増益となりました。

③ Health Care Solutions Unit

当ユニットは、Medicalの強いモメンタムが全体を牽引し、増収増益となりました。

➢ Medicalは、血液浄化器・カテーテルともに販売が拡大し続けており、大幅な増益となりました。海外向けの拡販も進み、M&A（EndoStream社事業など）の業績への貢献が加速しています。
➢ Pharmaは、バイオ医薬品の定修の影響や販売案件の下期へのずれ込みもあり、収益は低調に止まりました。低分子・バイオ医薬品における開発力の強化により新規案件の獲得を進め、さらなる増益を目指します。

④ Nutrition Solutions Unit

当ユニットは、販売好調なSupplementが全体を牽引し、増収増益となりました。

➢ Supplementは、米国・アジアを中心に還元型Ｑ１０が大幅な販売増となりました。
➢ Foodsは、高付加価値品へのシフトおよび価格改定を進めています。さらに「B2C」製品の拡販も進めます。

（２）当中間期の財政状態の概況

➢ 資産、負債及び純資産の状況
当中間連結会計期間末の総資産は、棚卸資産、有形固定資産の増加などにより前期末に対して26,212百万円増加の985,366百万円となりました。
負債については、仕入債務の増加、社債発行などにより17,111百万円増加の454,597百万円となりました。
純資産については、配当支払いおよび自己株式の増加の一方、利益剰余金の増加などにより9,100百万円増加の530,769百万円となり、自己資本比率は51.4％となりました。

➢ キャッシュ・フローの状況
当中間連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益や減価償却費などにより29,735百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得などにより28,012百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、社債発行や借入金の増加により3,286百万円の収入となりました。この結果、現金及び現金同等物の残高は、55,082百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中東戦争が継続し、世界的な政情不安が深刻になっています。３Ｑ以降の事業環境は不透明な状況が続くと想定しています。

Health Care領域では、Medicalの新製品拡販と米国・中国など販売地域の拡大が順調に進み、Pharmaの低分子・バイオ医薬品の新規案件が増加する見通しです。

QOL領域では、E&Iは、スマートフォンや大型液晶TVの需要が一時減速するものの、高付加価値グレードの拡販が進みます。Fiberは頭髪製品での需要が堅調に推移する見通しです。

Nutrition領域では、Supplementは、引き続き米国・アジアを中心に還元型Ｑ１０の拡販が続きます。３Ｑが需要期となるFoodsは、高付加価値品へのシフトが進み、収益が改善します。

Material領域は、市場環境のボラティリティが依然高く、不透明な情勢が続くと予想されます。このような状況下、スプレッドの安定化、高付加価値品の拡販、品質優位性を活かした拡販を進めます。

以上の状況を踏まえ、2026年５月14日公表の通期の連結業績予想については、下表の通り修正いたします。

2027年３月期（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 820,000	百万円 36,000	百万円 32,000	百万円 31,500	円銭 523.04
今回修正予想（B）	890,000	48,000	41,500	32,000	536.33
増減額（B-A）	70,000	12,000	9,500	500	
増減率（%）	8.5	33.3	29.7	1.6	
（参考）前期連結実績（2026年３月期）	811,638	32,894	28,873	30,977	501.26

セグメント別業績予想　（単位：百万円）

	売上高			営業利益		
	前回予想	今回修正予想	増減	前回予想	今回修正予想	増減
Material SU	326,000	358,000	32,000 (9.8%)	24,200	31,700	7,500 (31.0%)
Quality of Life SU	197,000	210,000	13,000 (6.6%)	19,200	25,100	5,900 (30.7%)
Health Care SU	89,000	97,000	8,000 (9.0%)	18,100	17,100	△ 1,000 (△5.5%)
Nutrition SU	207,000	224,000	17,000 (8.2%)	14,000	15,600	1,600 (11.4%)
その他	1,000	1,000	－ －	500	500	－ －
調整額	－	－	－	△ 40,000	△ 42,000	△ 2,000 (－)
計	820,000	890,000	70,000 (8.5%)	36,000	48,000	12,000 (33.3%)

（４）配当予想の修正に関する説明

2027年３月期の１株当たりの配当金については、通期の当期純利益の予想値を上方修正したことなどを勘案し、期末配当金を前回予想（2026年５月14日公表）より増額し、110円に修正します。これに伴い、2027年３月期の年間配当金は215円となる予定です。

	年間配当金		
	第２四半期末	期末	合計
前回発表予想	円　銭 105.00	円　銭 105.00	円　銭 210.00
今回修正予想	―	110.00	215.00
当期実績	105.00	―	―
（参考）前期実績（2026年３月期）	80.00	80.00	160.00

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,973	56,185
受取手形、売掛金及び契約資産	163,638	158,908
電子記録債権	18,730	21,112
商品及び製品	110,765	125,443
仕掛品	17,396	16,879
原材料及び貯蔵品	75,634	79,377
その他	30,465	26,790
貸倒引当金	△1,885	△1,868
流動資産合計	465,718	482,828
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	108,601	106,357
機械装置及び運搬具（純額）	125,864	124,865
その他（純額）	121,314	128,663
有形固定資産合計	355,780	359,886
無形固定資産		
のれん	2,213	2,042
その他	30,949	30,850
無形固定資産合計	33,163	32,893
投資その他の資産		
投資有価証券	52,139	56,470
退職給付に係る資産	34,035	34,379
その他	18,699	19,283
貸倒引当金	△382	△374
投資その他の資産合計	104,492	109,758
固定資産合計	493,436	502,538
資産合計	959,154	985,366

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	81,006	88,349
電子記録債務	5,245	5,820
短期借入金	139,531	130,427
未払法人税等	9,480	6,580
引当金	2,117	1,935
その他	66,673	67,904
流動負債合計	304,056	301,018
固定負債		
社債	15,000	25,000
長期借入金	59,045	68,689
引当金	861	751
退職給付に係る負債	20,076	20,003
その他	38,445	39,134
固定負債合計	133,429	153,578
負債合計	437,485	454,597
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,046	33,046
資本剰余金	30,084	30,113
利益剰余金	359,255	369,334
自己株式	△11,400	△13,588
株主資本合計	410,986	418,906
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,556	26,471
為替換算調整勘定	37,225	36,169
退職給付に係る調整累計額	26,887	25,340
その他の包括利益累計額合計	87,669	87,981
新株予約権	770	884
非支配株主持分	22,241	22,996
純資産合計	521,669	530,769
負債純資産合計	959,154	985,366

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	397,428	446,972
売上原価	288,903	315,660
売上総利益	108,525	131,312
販売費及び一般管理費	93,561	102,634
営業利益	14,963	28,678
営業外収益		
受取配当金	1,067	804
持分法による投資利益	35	113
その他	770	682
営業外収益合計	1,873	1,600
営業外費用		
支払利息	2,023	2,337
固定資産除却損	1,268	1,779
為替差損	586	829
その他	1,196	1,009
営業外費用合計	5,074	5,955
経常利益	11,762	24,323
特別利益		
投資有価証券売却益	6,161	－
特別利益合計	6,161	－
特別損失		
訴訟関連費用	586	645
事業整理損	529	－
製品保証費用	－	※1 1,285
特別損失合計	1,115	1,930
税金等調整前中間純利益	16,808	22,393
法人税、住民税及び事業税	5,280	7,072
法人税等調整額	△279	△469
法人税等合計	5,000	6,603
中間純利益	11,808	15,790
非支配株主に帰属する中間純利益	758	1,144
親会社株主に帰属する中間純利益	11,049	14,645

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	11,808	15,790
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30	2,914
為替換算調整勘定	3,101	△1,201
退職給付に係る調整額	△400	△1,547
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△1
その他の包括利益合計	2,731	164
中間包括利益	14,540	15,954
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	13,496	14,956
非支配株主に係る中間包括利益	1,044	997

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	16,808	22,393
減価償却費	23,185	24,232
訴訟関連費用	586	645
事業整理損	529	－
製品保証費用	－	1,285
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△325	△344
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△643	△2,302
貸倒引当金の増減額（△は減少）	0	3
受取利息及び受取配当金	△1,193	△915
支払利息	2,023	2,337
持分法による投資損益（△は益）	△35	△113
固定資産処分損益（△は益）	469	452
投資有価証券売却損益（△は益）	△6,161	－
売上債権の増減額（△は増加）	4,846	1,925
棚卸資産の増減額（△は増加）	△5,332	△18,405
仕入債務の増減額（△は減少）	△5,136	7,353
その他	2,658	2,520
小計	32,279	41,067
利息及び配当金の受取額	1,208	929
利息の支払額	△1,997	△2,352
訴訟関連費用の支払額	△586	△645
法人税等の支払額	△6,332	△9,263
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,571	29,735
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△22,260	△29,163
有形固定資産の売却による収入	113	－
無形固定資産の取得による支出	△1,988	△2,540
投資有価証券の取得による支出	△51	△84
投資有価証券の売却による収入	9,085	3,229
貸付けによる支出	△161	△64
貸付金の回収による収入	180	248
その他	△202	361
投資活動によるキャッシュ・フロー	△15,283	△28,012

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	6,936	△4,389
長期借入れによる収入	38	10,475
長期借入金の返済による支出	△4,857	△4,904
社債の発行による収入	－	10,000
リース債務の返済による支出	△548	△612
自己株式の取得による支出	△6,351	△2,249
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△4,405	△4,818
非支配株主への配当金の支払額	△175	△202
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△6	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,370	3,286
現金及び現金同等物に係る換算差額	△261	505
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△343	5,515
現金及び現金同等物の期首残高	44,631	48,935
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	－	631
現金及び現金同等物の中間期末残高	44,288	55,082

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（中間連結損益計算書関係）

※１　製品保証費用について

当中間連結会計期間(自 2026年４月１日　至 2026年９月30日)

当社が、安全確保の観点から自主的に実施している太陽光発電引込ケーブルの点検及び交換について、今後必要と見込まれる対策費用等を計上しております。

（追加情報）

当社は、2024年10月４日に公表した「太陽光発電引込ケーブルの点検及び交換について」に基づいて、安全確保を原因究明に優先して、引込ケーブルの点検及び交換を進めております。

その後の技術的検証の結果、不具合の原因が他社から納入された引込ケーブルの品質にあることが判明しております。なお、当該技術的検証の結果については、経済産業省所管の独立行政法人である製品評価技術基盤機構（NITE）においても確認がなされております。

当社は、納入業者に対して工事費用の負担を求め協議を継続しておりましたが、2026年７月14日に納入業者に対して、工事費用その他当社が被った損害の賠償を求める訴訟を大阪地方裁判所に提起しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額	中間連結損益計算書計上額（注）２
	Material Solutions Unit	Quality of Life Solutions Unit	Health Care Solutions Unit	Nutrition Solutions Unit	計				
売上高									
外部顧客への売上高	162,493	97,017	37,346	100,096	396,954	474	397,428	－	397,428
セグメント間の内部売上高又は振替高	126	37	22	35	222	708	930	△930	－
計	162,620	97,054	37,368	100,132	397,176	1,182	398,359	△930	397,428
セグメント利益	12,602	9,440	5,699	5,953	33,696	197	33,894	△18,930	14,963

（注）１　「その他」は、報告セグメントに含まれない損害保険・生命保険の代理業務等であります。

２　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	33,696
「その他」の区分の利益	197
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△18,973
その他の調整額	43
中間連結損益計算書の営業利益	14,963

（注）　全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額	中間連結損益計算書計上額（注）２
	Material Solutions Unit	Quality of Life Solutions Unit	Health Care Solutions Unit	Nutrition Solutions Unit	計				
売上高									
外部顧客への売上高	184,977	108,161	45,491	107,857	446,487	485	446,972	－	446,972
セグメント間の内部売上高又は振替高	172	63	－	62	299	723	1,022	△1,022	－
計	185,149	108,225	45,491	107,920	446,786	1,208	447,995	△1,022	446,972
セグメント利益	19,296	14,890	6,812	7,254	48,253	200	48,454	△19,775	28,678

（注）１　「その他」は、報告セグメントに含まれない損害保険・生命保険の代理業務等であります。
　　２　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	48,253
「その他」の区分の利益	200
セグメント間取引消去	△2
全社費用(注)	△19,861
その他の調整額	88
中間連結損益計算書の営業利益	28,678

（注）　全社費用は主に特定の報告セグメントに帰属しない基礎的研究開発費であります。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間より、新製品の上市に伴い一部の連結子会社の事業セグメントを変更し、報告セグメントを「調整額」から「Health Care Solutions Unit」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。